

# てびねり

五月号

平成22年5月1日発行  
株式会社ゆしま陶助

## 細川家の 「特別展」至宝

The Lineage of Culture  
The Hosokawa Family  
Eisel Bunko Collection  
珠玉の永青文庫コレクション

期日 4月20日～6月6日  
場所 東京国立博物館平成館

細川家の永青文庫は旧熊本藩主細川家に伝わる文化財を、後世に伝えるために設立された、8万点を超える日本有数の文化財コレクションです。  
細川家の祖細川幽齋の和歌資料や、利休の高弟だった2代目忠興の茶道具、忠興の妻でキリシタンだったガラシャの遺品、細川家の客分として晩年を熊本で過ごした剣豪宮本武蔵の絵画など細川家の歴史と日本の伝統文化を紹介しています。



重要美術品<能面 般若>  
室町時代の作品。女性のはげしい嫉妬を描いた曲に用いられる面です。

この永青文庫は昭和25年(1950年)16代細川護立によって設立されました。細川護立氏は細川連立政権で総理大臣を務めた細川護熙氏の祖父に当たり、細川護熙氏は現在この永青文庫の理事長を務めています。(佐藤(口)、写真等東京博物館HPから)

### ◆今月の制作風景



□石黒郁子さん  
ポプリなどの花入れを制作中。



□杉山尚子さん  
何個目かの陶箱作り。  
かなり上手になりました。



□中原玲子さん  
シーサーの置物を作っています。  
すが、細かい作業が続きます。



□小屋謙治さん  
指のケガに陶芸はいい  
リハビリになりそうです。



□鈴木勲さん  
ていねいに釉掛前の削りです。



□加藤美代子さん  
入れ子(大きな器から順次重ねるうつつわ)の削りを慎重に進めています。



□小宮昌子さん  
カメラに気が付かないほど真剣に茶碗の形を整えています。



□御手洗誠治さん  
このところ仕事が忙しくてようやく来ました。  
(忙しい事はいいことです)



□鈴木幸子さん  
初めての本コースです。



□大塚美智江さん  
花器に辰砂を掛けます。



□近藤真弓さん  
3個目の八角皿の染付です。  
かなり腕をあげましたね。



初級コース  
□竹内正和さん(4月入会)

《夜の教室風景》  
ゴールデンウィーク直前の夜の教室です。明日から休みになりますから、話はずんで楽しんでます。



### おかげ様で 元気になりました

検査入院でしばらくご無沙汰しましたが、おかげさまで無事戻って参りました。  
少し長引いたのは、日頃の不摂生で余分な脂肪が多かったもので、先生のご指導で大分減量しました。留守中は皆さんに大変ご迷惑をお掛けしました。今後ともよろしく願います。  
園部正樹



# 今月の作品

□野口華栄さん 「花器」



呉須で雲を描いた見事な花器です。

□佐藤真理さん 「菓子皿」



春夏秋冬を絵文字で表した5枚組の菓子皿です。料理好きの佐藤さんらしいです。



□知久真理子さん(コンポート)  
全体に白マットを掛けたフルーツコンポートです。

□木村治さん 「井鉢」



井2個分はありそうな大きなうつつわです。

□吉川睦子さん 「花入れ」



全体を削った後で表面にリボン風にアクセントを付けました。

□新津恭子さん 「盛り皿」



ゴルフボール3個を使って型を作った独創的な3点盛りのうつわです。

□浅沼範子さん 「組皿」



スプリングをのばして作った切り糸で波の柄を付けました。白秋釉を掛けモダンな皿になりました。

□奥村千恵子さん 「花入れ」



紙で模型を作ってから作り始めました。鉄赤を掛けシンプルに仕上げました。



□鉄井理央さん(人形いろいろ)  
モーゼ、イエスキリスト、ジャクソンファイブ、など鉄井さん独特の世界が表現されています。

□八島真弓さん 「ご飯茶碗」



プレゼント用に作ったご飯茶碗。リクエストに応じてかなり作っていますから上手になりました。

□佐々由佳さん 「そば猪口」



時間を掛けた甲斐がありました。きれいに市松模様が出ました。

□高石昌和さん 「ふた物」



上絵で四季の花を描きました。茶碗蒸しも一段と美味しいでしょうね。色も良く出ました。

□菅野満雄さん 「金魚水槽」



高さが30センチ近くある水槽です。メダカが孵化し増えたので新しいお家を作りました。菅野さんの優しさが出ている作品です。

□木谷光伸さん 「平茶碗」



黒マットに透明鉄赤をアクセントに掛け還元焼成しました。良い色が出ました。

□山口和江さん 「マグカップ」



持ち手のそばにティパツクの糸が掛けられるように作ったアイデア作品です。洋の器に和の染付。いいですね。

## 見た事・聞いた事・読んだ事

### 今年国民読書年

こくみんどくしょねん  
一昨年6月の国会決議で2010年つまり今年が「国民読書年」に定められたのをこ存じてでしょうか。平成18年6月に衆参両院全会一致で決まったのですが、昨年の政権交代ですっかり影が薄くなったのか、あまり話題にもならず始まったようです。今はテレビやインターネットで世の中の情勢は簡単にしかも瞬時にわかるようになりました。それに電子図書や携帯電話で読めるようになり、本屋さんに行くと好きな本を買ってきて読むのはめっきり少なくなり読書離れは加速するばかりです。



右にあげたロゴや広告を目にした人も多いと思います。(政府広報オンラインから)国会決議で「国民読書年」を定め、昨年から目にするようになってきました。人類は文字、活字でその英知を後世に伝えてきたのに、今は年齢を問わず活字離れが進み危機感も頂点に達してきたということのようです。私も、本を買ってきても読まずに積んでおく方が断然多くなりました。今も机の片隅に五木寛之の「親鸞」上下、手嶋龍一の「スギハラダラー」など何冊もいつ読むのやら積んであります。最近買って来ただけで読んだつもりになってしまつ「積んどく症候群」になってしまいました。皆さんはいかがでしょう。(佐藤)